

ワイヤレスバーコードリーダー パラメータ設定ガイド

対応機種
KC-5200ZB



製品保証と注意事項

「保証期間」

本製品の保証期間は、ご購入日より1ヶ年とさせていただきます。

「保証範囲」

保証期間中に納入者側の責により故障を生じた場合は、納入者側において機器の修理または交換を行います。但し、保証期間内であっても、次に該当する場合は、保証対象から除外させていただきます。

- 需要者側の不適当な取り扱いならびに使用
- 故障の原因が納入者以外の事由による場合
- 外装部品の損傷
- 自然劣化・消耗部品
- 需要者側で改造・修理を行った場合
- 天災地変による場合

尚、ここでいう保証は納入品単体の保障を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

「修理」

修理は全てドック方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

「電波障害自主規制について」

本装置は米国通信規制「FCC 第15条補足J」による計算機器制約条件に適合しております。商業環境での使用において妥当な保護措置がなされています。しかし、住宅地域でのご使用は妨害（ラジオ・テレビなどの受信障害）が起ることがあります。

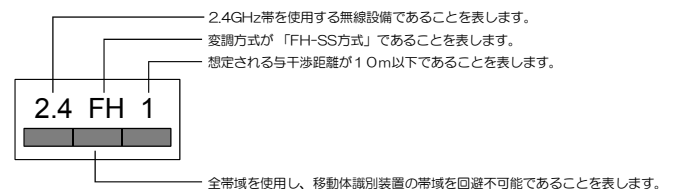
「その他」

- 納入品の価格には、サービス費用は一切含んでおりません。

■ 電波に関する注意 ■

- 本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
- 1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに使用場所を変更するか、電波の発射を停止してください。
- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の端末設備として、技術適合証明を受けています。本製品の分解/改造は違法となります。
- 交通機関内や医療機関内などでは、本製品のご使用はお控えください。電子機器や心臓ペースメーカーなどへの影響の可能性もあるため、ご利用に関しては各交通機関及び各医療機関の案内及び指示に従ってください。



■ 電波の種類と干渉距離 ■



安全上の注意

安全にお使い頂くために必ずお守りください。

警告・注意表示は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために守って頂きたい事項を示しています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読み下さい。

	警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷の発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

	<注意> 一般的な注意、警告、危険の通知を示しています。		<禁止> 一般的な禁止を示しています。
	<発火注意> 発火の可能性が想定されることを示しています。		<水気禁止> 風呂、シャワーなどの水気の多い場所での使用を禁止することを示しています。
	<感電注意> 感電の可能性が想定されることを示しています。		<分解禁止> 製品の分解や改造を禁止することを示しています。
	<破裂注意> 破裂の可能性が想定されることを示しています。		<ケガ注意> 指を挟まれるなど、ケガを負う可能性が想定されることを示しています。



■本装置を絶対に分解しないで下さい。故障・感電（火災）の原因になります。



■直射日光が長時間当たる場所、粉塵の多い場所、湿気が異常に多い場所、水を扱う場所、暖房機器などの発熱物の近くなでは使用しないで下さい。故障・感電（火災）の原因になります。



■ケーブルに重いものを載せないで下さい。また、ケーブルをねじったり、強く引っ張ったりしないで下さい。ケーブルの被覆破れや断線が発生し、故障・感電（火災）の原因になります。



■引火性のガスや発火性の物質のある場所及び薬品や化学物質などを扱う場所では、絶対に使用しないで下さい。火災・爆発・故障の原因になります。



■故障した状態のまま使用しないで下さい。異臭がする、煙が出たなどの異常が生じた時は、すぐに接続している機器の電源をOFFにし、コネクタを抜いて下さい。感電（火災）の原因になります。



 注意

■使用可能な温度・湿度内で使用して下さい。故障の原因になります。



■濡れた手でケーブルの接続や取り外しを行わないで下さい。故障・感電の原因になります。



■長期的な振動（バイクの荷台や自転車での移動）や強いショック（落下）を与えないで下さい。
故障の原因になります。



■温度が激しく変化する場所（夏場の車内）や熱器具など熱を発生する物の近くに放置しないで下さい。
装置のケースが変形したり、故障の原因になります。



■不安定な場所（棚など）でのご使用や保管は避けて下さい。不用意な落下による故障やけがの原因になります。



■揮発性の高い有機溶剤（シンナー・ベンジンなど）や薬品、化学雑巾で拭かないでください。
また、殺虫剤を吹きかけないで下さい。ケースの変形や変色の原因になります。



INDEX

1. はじめに	9
1.1. 梱包内容の確認	9
1.2. バーコードリーダーの電源を入れる	9
1.3. バーコードリーダーとUSBケーブルを接続する	9
1.4. LED/ビームインディケータ	10
1.5. PCと接続する	10
1.6. 出荷時の状態に初期化する	10
1.7. 充電電池	11
2. システムソフト	12
3. データフォーマットに関するパラメータ	13
3.1. ターミナル	13
3.2. プリアンプル/ポストアンプル	13
3.4. グループキャラクタG1, G2	14
3.5. コードID	15
4. 読み取り動作に関するパラメータ	16
4.1. 読み取り照合回数	16
4.2. 初 (反転)バーコード読み取り	16
5. 読み取りバーコードに関するパラメータ	17
5.1. UPC-A	17
5.2. UPC-E	19
5.3. EAN-13/JAN-13	21
5.4. EAN-8/JAN-8	23
5.5. コード 39	25
5.6. コーダバ (NW7)	27
5.7. コード 93	29
5.8. コード 128	31
5.9. インターリーブド 2/5	33
5.10. インターストリアル 2/5	35
5.11. マトリクス 2/5	37
5.12. チャイホスト	39
5.13. MSI/Plessey	41
5.14. コード 32	43
5.15. コード 11	44
5.16. Telepen	46
5.17. GS1 Databar	48
補足A. ASCIIコード表	49
補足B. ファンクションキートブル	50
補足C. サンプルバーコード	51
修理依頼書	53

Blank page

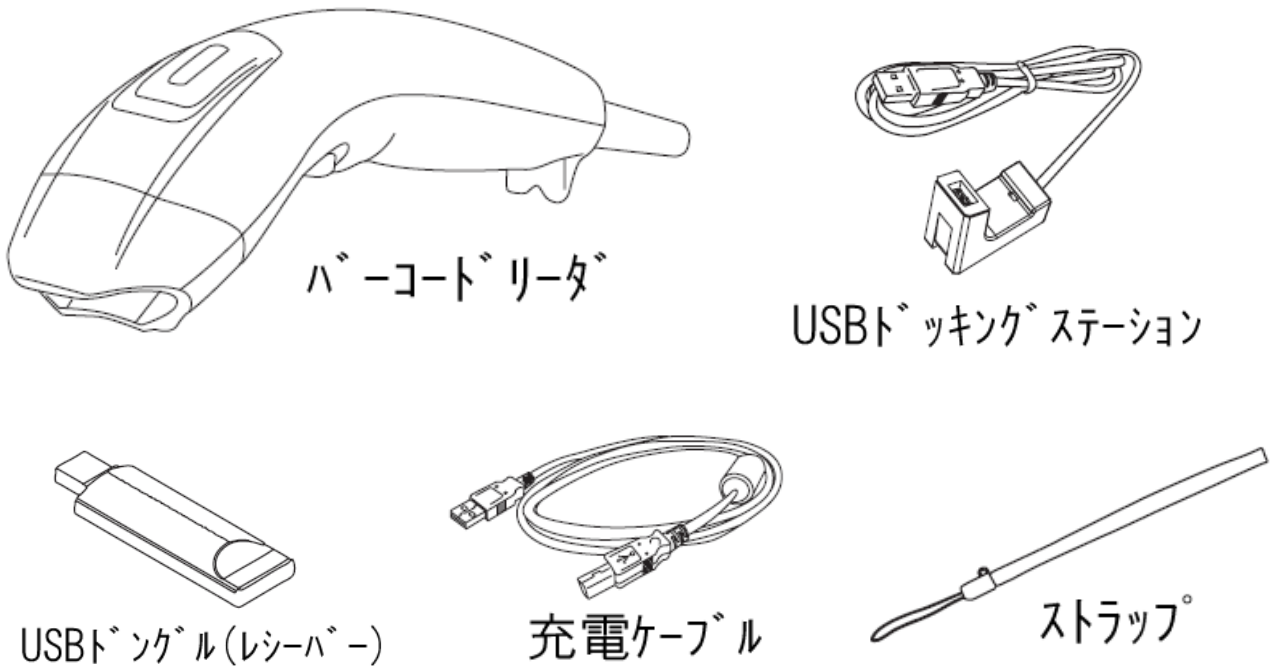
1. はじめに

この度は、弊社 KC シリーズワイヤレスバーコードリーダ（以下、バーコードリーダ）をお買い上げいただきありがとうございます。本書は、バーコードリーダの基本的な導入方法及びパラメータ設定を行うために用意された別冊ガイドです。良くお読みの上、正しくバーコードリーダをご使用ください。

本書に掲載しているコマンドバーコードを読み取ることで、バーコードリーダのインターフェイスや読み取りに関するパラメータ設定が行えます。設定されたパラメータは、不揮発性メモリに保存されるため、電源を切にして設定が消えることはありません。

1.1. 梱包内容の確認

バーコードリーダの製品箱には、以下の物が同梱されています。不足物や破損した物がある場合は、お手数ですが、弊社までご連絡をお願いします。



※梱包箱は、修理などで製品を返送する場合、輸送時の損傷を避けるために必要となります。
大切に保管してください。

※梱バーコードリーダは完全には充電が行われていません。ご使用になる前に、十分な充電を行ってください。

1.2. バーコードリーダの電源を入れる

トリガボタを一度押してください。ビープ音が1回鳴動し、青色LEDが点灯後、橙色LED点灯に移行します。バーコードリーダのヘッド部のLEDが橙色に点灯すれば動作可能状態です。

1.3. バーコードリーダとUSBドングルをペアリングする

下記の3ステップでペアリングが行えます。

1. USBドングルをバーコードリーダ後部のUSBコネクタに差し込みます。
2. トリガボタを押します。
3. ペアリングが正しく行われると、バーコードリーダは、1回ビープ音を鳴動し、青色LEDを1回点灯します。
4. ペアリング完了です。

1.4. LED/ビープインデキータ

バーコードリーダーのLED及びビープインデキータの意味を下記に示します。

バーコードリーダー LED/ビープインデキータ					
意味	ビープ	青色 LED	緑色 LED	赤色 LED	橙色 LED
読取 OK	1 回鳴動	1 回点滅	-	-	-
送信エラー	4 回鳴動	4 回点滅	-	-	-
送信エラー (メモリ)	2 回鳴動	2 回点滅	-	-	-
低バッテリー	-	-	-	カ	-
充電中	-	-	カ	-	-
動作中 (電源カ)	-	-	-	-	カ
スリープモード中	カ	カ	カ	カ	カ

USB Dongle の LED は、データ受信時に赤色に 1 回点灯します。

1.5. PC と接続する

USB Dongle を PC の USB ポートに差し込んでください。特別なドライバなどを準備する必要はありません。自動的に認識され、10 秒以内に初期化を完了し、赤色 LED をゆっくり点滅させ、動作状態となります。

1.6. 出荷時の状態に初期化する

上から順番に読み取ってください。

 * % + M 7 - 1 *	設定開始
 * % + M 7 - 2 *	全デフォルト
 * % + C 9 C X *	ターミネータ CR (インターキー)
 * % + M 7 - 5 *	設定終了
 ~ K B D C T Y 6 .	日本語キーボード


1.7. 充電電池

バーコードリーダーは、リチウムイオン充電電池を搭載しています。この充電電池は、残量が0の状態、約4時間の充電を要します。

充電電池の寿命

充電電池の特性上、十分な充電を行っても使用できる時間が短くなった時が交換の目安となります。バーコードリーダーの充電電池は、お客様では交換していただけません。お手数ですが、弊社までご返送をお願いします。

安全に、より長く充電電池パックをご使用いただくために

- ご購入後、最初に約4時間 充電電池パックを充電してください。
- 充電は、18~25℃の環境で行ってください。
-  危険・警告・注意をお読みの上、正しくお使いください。

充電電池パック・充電器の注意

指定されている専用の充電電池及び充電方法(PCのUSBポート又は指定ACアダプタでの充電)を必ずご利用ください。液漏れ・発熱・破裂の恐れがあり、大変危険です。以下の事項を必ずお守りください。

危険

- 専用充電器以外では充電しない。
- ハブの付けや分解・改造・変形をしない。
- 火中投入、加熱をしない。
- 液漏れした製品が目に入った時は、失明の恐れがありますので、こすらずにきれいな水で十分洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

警告

- +- (プラス/マイナス) を正しく入れる。
- +- (プラス/マイナス) を金属物に接触させない。また、金属製のネックレスやピアスと一緒に持ち運んだり保管しない。
- 外装ケースをはがしたり傷つけない。
- 液漏れした液が手や衣服に付いた時は直ちにきれいな水で洗い流すこと。
- 液漏れや変色、変形に気づいたときは使用しない。
- 乳幼児の手の届かない所へ保管する。万が一飲み込んだ場合は、すぐに医者に相談する。

注意

- 強い衝撃を与えたり、投げつけない。
- 水に濡らさない。
- 充電した電池と放電した電池を混用しない。
- 新旧の電池を混用して使用しない。
- 使用しない時は、機器から取り外す。
- 専用の充電電池及び充電器以外は使用しない。

充電電池の廃棄について

使用済みの充電電池は「充電式電池リサイクル協力店くらび」に加入の電気店またはスーパーなどに設置されているリサイクルボックスに入れてください。



2. システムコマンド



コマンドバーコード	説明
 * % + M 7 - 1 *	<u>設定開始</u> 左記のバーコードをスキャンすると、設定モードに入ります。
 * % + M 7 - 5 *	<u>設定終了</u> 左記のバーコードをスキャンすると、パラメータ変更内容を保存し、設定モードを終了します。
 * % + M 7 - 2 *	<u>全デフォルト</u> 左記のバーコードをスキャンすると、全パラメータを工場出荷時の値にリセットします。
 * % + M 7 - 3 *	<u>ファームウェアバージョン</u> 左記のバーコードをスキャンすると、ファームウェアバージョンを出力します。
国別キーボード設定 (設定開始・設定終了バーコードをスキャンする必要はありません)	
 ~ K B D C T Y 6 .	日本
 ~ K B D C T Y 0 .	USA
 ~ K B D C T Y 1 .	イタリア
 ~ K B D C T Y 2 .	スペイン
 ~ K B D C T Y 3 .	フランス
 ~ K B D C T Y 4 .	ドイツ
 ~ K B D C T Y 5 .	デンマーク
ファンクションキーテーブル設定 (設定開始・設定終了バーコードをスキャンする必要はありません)	
 * % O T Y 1 . *	ファンクションキーテーブル 1
 * % O T Y 2 . *	ファンクションキーテーブル 2






3. データフォーマットに関するパラメータ

下記に読み取りデータの基本送信データフォーマットを示します。


基本送信データフォーマット				
プリアンブル	コード ID	読み取りデータ	ポストアンブル	ターミネータ



3.1. ターミネータ

設定開始  * % + M 7 - 1 *	設定終了  * % + M 7 - 5 *
--	---



コマンドバrcode	説明	デフォルト
 * % + C 9 A V *	無し	
 * % + C 9 B W *	CR+LF	■
 * % + C 9 C X *	CR	
 * % + C 9 D Y *	LF	
 * % + C 9 E Z *	TAB	

3.2. プリアンブル/ポストアンブル

設定開始  * % + M 7 - 1 *	設定終了  * % + M 7 - 5 *
--	---

コマンドバrcode	説明	デフォルト		
 * % + E 4 A S *	プリアンブル 左記のバrcodeをスキャンした後、16進数バrcodeでASCIIコードをスキャンします。例えば、プリアンブルを12とする場合は、「設定開始」→「プリアンブル」→「3」「1」「3」「2」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。最大5キャラクタまで設定可能です。	00(無し)		
 * % + E 5 A T *	ポストアンブル 左記のバrcodeをスキャンした後、16進数バrcodeでASCIIコードをスキャンします。例えば、ポストアンブルを12とする場合は、「設定開始」→「ポストアンブル」→「3」「1」「3」「2」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。最大5キャラクタまで設定可能です。	00(無し)		
数値バrcode				
 * 0 *	 * 1 *	 * 2 *	 * 3 *	 * 4 *
 * 5 *	 * 6 *	 * 7 *	 * 8 *	 * 9 *
 * A *	 * B *	 * C *	 * D *	 * E *
 * F *	確定  * % + M 7 - 6 *			



3.4. グループキャラクタG1, G2



設定開始  * % + M 7 - 1 *	設定終了  * % + M 7 - 5 *
--	---

コマンドバ-コード	説明	デフォルト		
 * % + E 6 A U *	グループキャラクタ G1 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードでASCIIコードをスキャンします。例えば、グループキャラクタG1を12とする場合は、「設定開始」→「グループキャラクタG1」→「3」「1」「3」「2」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。最大10キャラクタまで設定可能です。	00 (無し)		
 * % + E 7 A V *	グループキャラクタ G2 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードでASCIIコードをスキャンします。例えば、グループキャラクタG2を12とする場合は、「設定開始」→「グループキャラクタG2」→「3」「1」「3」「2」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。最大10キャラクタまで設定可能です。	00 (無し)		
 * % + E 8 A W *	グループキャラクタ G1 挿入位置 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで挿入位置をスキャンします。例えば、グループキャラクタG1「12」を読み取りデータのABCDのBの後ろに挿入する場合は、「設定開始」→「グループキャラクタG1挿入位置」→「0」「2」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。送信データは、AB 12 CDとなります。	00		
 * % + E 9 A X *	グループキャラクタ G2 挿入位置 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで挿入位置をスキャンします。例えば、グループキャラクタG2「12」を読み取りデータのABCDのBの後ろに挿入する場合は、「設定開始」→「グループキャラクタG1挿入位置」→「0」「2」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。送信データは、AB 12 CDとなります。	00		
数値バ-コード				
 * 0 *	 * 1 *	 * 2 *	 * 3 *	 * 4 *
 * 5 *	 * 6 *	 * 7 *	 * 8 *	 * 9 *
 * A *	 * B *	 * C *	 * D *	 * E *
 * F *	確定  * % + M 7 - 6 *			

※グループキャラクタ G1, G2 の実際の送信設定は、各読み取りバ-コード 毎に行います。「5.読み取りバ-コードに関するパラメ-ル」を参照ください。

3.5. コード ID



設定開始  * % + M 7 - 1 *	設定終了  * % + M 7 - 5 *
--	---



コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % + E A B Z *	送信無し	■
 * % + E A A Y *	送信有り	

バーコード	コード ID	バーコード	コード ID
UPC-A	F	インターリーブド 2/5	N
UPC-E	G	インダストリアル 2/5	O
EAN-13/JAN-13	H	マトリクス 2/5	P
EAN-8	I	チャイホーストコード	Q
コード 39	J	MSI/Plessey	R
コードバー (NW7)	K	コード 32	S
コード 93	L	コード 11	T
コード 128	M	Telepen	V



4. 読み取り動作に関するパラメータ



4.1. 読み取り照合回数

設定開始  * % + M 7 - 1 *	設定終了  * % + M 7 - 5 *
--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % + E D A . *	無し (1 回読み取り)	■
 * % + E D B \$ *	有り (2 回読み取り)	



4.2. 初 (反転)バーコード読み取り

設定開始  * % + M 7 - 1 *	設定終了  * % + M 7 - 5 *
--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % + E E B / *	無し	■
 * % + E E A \$ *	有り	



5. 読み取りバーコードに関するパラメータ

5.1. UPC-A

設定開始  * % + M 7 - 1 *	設定終了  * % + M 7 - 5 *
--	---



コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % + F 1 A Q *	読み取り無し	
 * % + F 1 B R *	読み取り有り	■
 * % + F 2 A R *	コード ID 左記のバーコードをスキャンした後、16進数バーコードでASCIIコードをスキャンします。例えば、Aとする場合は、「設定開始」→「コードID」→「4」「1」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	46 (F)
 * % + F 3 A S *	EAN-13 変換無し	■
 * % + F 3 B T *	EAN-13 変換有り	
 * % + F 4 A T *	チェックビット送信無し	
 * % + F 4 B U *	チェックビット送信有り	■
 * % + F 5 A U *	先頭0削除無し	■
 * % + F 5 B V *	先頭0削除有り	
 * % + F 6 A V *	指定桁数先頭削除 左記のバーコードをスキャンした後、16進数バーコードで削除したい桁数(16進数)をスキャンします。例えば、000004900018というデータの先頭7桁を削除する場合は、「設定開始」→「指定桁数先頭削除」→「0」「7」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	00 (無し)
 * % + F 7 A W *	指定桁数後方削除 左記のバーコードをスキャンした後、16進数バーコードで削除したい桁数(16進数)をスキャンします。例えば、00000490018というデータの後方4桁を削除する場合は、「設定開始」→「指定桁数後方削除」→「0」「4」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	00 (無し)

数値バーコード				
 * 0 *	 * 1 *	 * 2 *	 * 3 *	 * 4 *
 * 5 *	 * 6 *	 * 7 *	 * 8 *	 * 9 *
 * A *	 * B *	 * C *	 * D *	 * E *
 * F *	確定  * % + M 7 - 6 *			



設定開始  * % + M 7 - 1 *	設定終了  * % + M 7 - 5 *
--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト		
 * % + F 9 A Z *	グループキャラクタ (G1, G2) 挿入 左記のバーコードをスキャンした後、16進数バーコードで挿入したいグループキャラクタ番号をスキャンします。例えば、G1を挿入する場合は、「設定開始」→「グループキャラクタ (G1, G2) 挿入」→「0」「1」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	00 (無し)		
 * % + F 8 A X *	アドオン読み取り無し	■		
 * % + F 8 B Y *	アドオン2読み取り有り			
 * % + F 8 C Z *	アドオン5読み取り有り			
 * % + F 8 D - *	アドオン2&5読み取り有り			
 * % + F 8 E . *	アドオン自動判別読み取り			
数値バーコード				
 * 0 *	 * 1 *	 * 2 *	 * 3 *	 * 4 *
 * 5 *	 * 6 *	 * 7 *	 * 8 *	 * 9 *
 * A *	 * B *	 * C *	 * D *	 * E *
 * F *	確定  * % + M 7 - 6 *			

5.2. UPC-E



設定開始  * % + M 7 - 1 *	設定終了  * % + M 7 - 5 *
--	---

コマンドバースト	説明	デフォルト		
 * % + G 1 A R *	読み取り無し			
 * % + G 1 B S *	読み取り有り	■		
 * % + G 2 A S *	コード ID 左記のバーストをスキャンした後、16進数バーストでASCIIコードをスキャンします。例えば、Aとする場合は、「設定開始」→「コードID」→「4」「1」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	47 (G)		
 * % + G 3 A T *	UPC-A 変換無し	■		
 * % + G 3 B U *	UPC-A 変換有り			
 * % + G 4 A U *	チェックビット送信無し			
 * % + G 4 B V *	チェックビット送信有り	■		
 * % + G 7 A X *	先頭0 削除無し	■		
 * % + G 7 B Y *	先頭0 削除有り			
 * % + G 5 A V *	指定桁数先頭削除 左記のバーストをスキャンした後、16進数バーストで削除したい桁数(16進数)をスキャンします。例えば、04900018 というデータの先頭3桁を削除する場合は、「設定開始」→「指定桁数先頭削除」→「0」「3」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	00 (無し)		
 * % + G 6 A W *	指定桁数後方削除 左記のバーストをスキャンした後、16進数バーストで削除したい桁数(16進数)をスキャンします。例えば、04900018 というデータの後方4桁を削除する場合は、「設定開始」→「指定桁数後方削除」→「0」「4」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	00 (無し)		
数値バースト				
 * 0 *	 * 1 *	 * 2 *	 * 3 *	 * 4 *
 * 5 *	 * 6 *	 * 7 *	 * 8 *	 * 9 *
 * A *	 * B *	 * C *	 * D *	 * E *
 * F *	確定  * % + M 7 - 6 *			



設定開始  * % + M 7 - 1 *	設定終了  * % + M 7 - 5 *
--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト		
 * % + G 9 A Z *	グループキャラクタ (G1, G2) 挿入 左記のバーコードをスキャンした後、16進数バーコードで挿入したいグループキャラクタ番号をスキャンします。例えば、G1を挿入する場合は、「設定開始」→「グループキャラクタ (G1, G2) 挿入」→「0」「1」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	00 (無し)		
 * % + G 8 A Y *	アドバンス読み取り無し	■		
 * % + G 8 B Z *	アドバンス 2 読み取り有り			
 * % + G 8 C - *	アドバンス 5 読み取り有り			
 * % + G 8 D . *	アドバンス 2&5 読み取り有り			
 * % + G 8 E \$ *	アドバンス自動判別読み取り			
数値バーコード				
 * 0 *	 * 1 *	 * 2 *	 * 3 *	 * 4 *
 * 5 *	 * 6 *	 * 7 *	 * 8 *	 * 9 *
 * A *	 * B *	 * C *	 * D *	 * E *
 * F *	確定  * % + M 7 - 6 *			

5.3. EAN-13/JAN-13



設定開始  * % + M 7 - 1 *	設定終了  * % + M 7 - 5 *
--	---

コマンドバ-コード	説明	デフォルト		
 * % + H 1 A S *	読み取り無し			
 * % + H 1 B T *	読み取り有り	■		
 * % + H 2 A T *	コード ID 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードでASCIIコードをスキャンします。例えば、Aとする場合は、「設定開始」→「コードID」→「4」「1」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	48 (H)		
 * % + H 3 A U *	チェックビット送信無し			
 * % + H 3 B V *	チェックビット送信有り	■		
 * % + H 4 A V *	指定桁数先頭削除 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで削除したい桁数(16進数)をスキャンします。例えば、4900010000006というデータの先頭2桁を削除する場合は、「設定開始」→「指定桁数先頭削除」→「0」「2」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	00 (無し)		
 * % + H 5 A W *	指定桁数後方削除 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで削除したい桁数(16進数)をスキャンします。例えば、4900010000006というデータの後方7桁を削除する場合は、「設定開始」→「指定桁数後方削除」→「0」「7」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	00 (無し)		
数値バ-コード				
 * 0 *	 * 1 *	 * 2 *	 * 3 *	 * 4 *
 * 5 *	 * 6 *	 * 7 *	 * 8 *	 * 9 *
 * A *	 * B *	 * C *	 * D *	 * E *
 * F *	確定  * % + M 7 - 6 *			



設定開始  * % + M 7 - 1 *	設定終了  * % + M 7 - 5 *
--	---

コマンドバースト	説明	デフォルト		
 * % + H 8 A Z *	グループキャラクタ (G1, G2) 挿入 左記のバーストをスキャンした後、16進数バーストで挿入したいグループキャラクタ番号をスキャンします。例えば、G1を挿入する場合は、「設定開始」→「グループキャラクタ (G1, G2) 挿入」→「0」「1」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	00 (無し)		
 * % + H 6 A X *	アドカ読み取り無し	■		
 * % + H 6 B Y *	アドカ2読み取り有り			
 * % + H 6 C Z *	アドカ5読み取り有り			
 * % + H 6 D - *	アドカ2&5読み取り有り			
 * % + H 6 E . *	アドカ自動判別読み取り			
 * % + H 7 A Y *	ISBN/ISSN 変換無し	■		
 * % + H 7 B Z *	ISBN/ISSN 変換無し			
数値バースト				
 * 0 *	 * 1 *	 * 2 *	 * 3 *	 * 4 *
 * 5 *	 * 6 *	 * 7 *	 * 8 *	 * 9 *
 * A *	 * B *	 * C *	 * D *	 * E *
 * F *	確定  * % + M 7 - 6 *			

5.4. EAN-8/JAN-8



設定開始  * % + M 7 - 1 *	設定終了  * % + M 7 - 5 *
--	---





コマンドバーコード	説明	デフォルト		
 * % + I 1 A T *	読み取り無し			
 * % + I 1 B U *	読み取り有り	■		
 * % + I 2 A U *	コード ID 左記のバーコードをスキャンした後、16進数バーコードでASCIIコードをスキャンします。例えば、Aとする場合は、「設定開始」→「コードID」→「4」「1」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	49 (I)		
 * % + I 3 A V *	チェックビット送信無し			
 * % + I 3 B W *	チェックビット送信有り	■		
 * % + I 4 A W *	指定桁数先頭削除 左記のバーコードをスキャンした後、16進数バーコードで削除したい桁数(16進数)をスキャンします。例えば、49000108というデータの先頭2桁を削除する場合は、「設定開始」→「指定桁数先頭削除」→「0」「2」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	00 (無し)		
 * % + I 5 A X *	指定桁数後方削除 左記のバーコードをスキャンした後、16進数バーコードで削除したい桁数(16進数)をスキャンします。例えば、49000108というデータの後方4桁を削除する場合は、「設定開始」→「指定桁数後方削除」→「0」「4」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	00 (無し)		
数値バーコード				
 * 0 *	 * 1 *	 * 2 *	 * 3 *	 * 4 *
 * 5 *	 * 6 *	 * 7 *	 * 8 *	 * 9 *
 * A *	 * B *	 * C *	 * D *	 * E *
 * F *	確定  * % + M 7 - 6 *			



<p>設定開始</p>  <p>* % + M 7 - 1 *</p>	<p>設定終了</p>  <p>* % + M 7 - 5 *</p>
--	---






コマンドバ-コード	説明	デフォルト		
 <p>* % + I 7 A Z *</p>	<p>グループキャラクタ (G1, G2) 挿入</p> <p>左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで挿入したいグループキャラクタ番号をスキャンします。例えば、G1を挿入する場合は、「設定開始」→「グループキャラクタ (G1, G2) 挿入」→「0」「1」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。</p>	00 (無し)		
 <p>* % + I 6 A Y *</p>	アドバ-読み取り無し	■		
 <p>* % + I 6 B Z *</p>	アドバ- 2 読み取り有り			
 <p>* % + I 6 C - *</p>	アドバ- 5 読み取り有り			
 <p>* % + I 6 D . *</p>	アドバ- 2&5 読み取り有り			
 <p>* % + I 6 E . *</p>	アドバ-自動判別読み取り			
数値バ-コード				
 <p>* 0 *</p>	 <p>* 1 *</p>	 <p>* 2 *</p>	 <p>* 3 *</p>	 <p>* 4 *</p>
 <p>* 5 *</p>	 <p>* 6 *</p>	 <p>* 7 *</p>	 <p>* 8 *</p>	 <p>* 9 *</p>
 <p>* A *</p>	 <p>* B *</p>	 <p>* C *</p>	 <p>* D *</p>	 <p>* E *</p>
 <p>* F *</p>	<p>確定</p>  <p>* % + M 7 - 6 *</p>			

5.5. コード 39

設定開始  * % + M 7 - 1 *	設定終了  * % + M 7 - 5 *
--	---



コマンドバーコード	説明	デフォルト		
 * % + J 1 A U *	読み取り無し			
 * % + J 1 B V *	読み取り有り	■		
 * % + J 2 A V *	コード ID 左記のバーコードをスキャンした後、16進数バーコードでASCIIコードをスキャンします。例えば、Aとする場合は、「設定開始」→「コードID」→「4」「1」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	4A (J)		
 * % + J 3 A W *	チェックサム検査無し	■		
 * % + J 3 B X *	チェックサム検査有り			
 * % + J 4 A X *	チェックサム送信無し			
 * % + J 4 B Y *	チェックサム送信有り	■		
 * % + J 5 A Y *	連結無し	■		
 * % + J 5 B Z *	連結有り			
 * % + J 9 A \$ *	ルアスキー読み取り無し	■		
 * % + J 9 B / *	ルアスキー読み取り有り			
 * % + J 6 A E *	読み取り最小桁数 左記のバーコードをスキャンした後、16進数バーコードで読み取り最小桁数(16進数)をスキャンします。例えば、10桁にする場合は、「設定開始」→「読み取り最小桁数」→「0」「A」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	00		
 * % + J 7 A - *	読み取り最大桁数 左記のバーコードをスキャンした後、16進数バーコードで読み取り最大桁数(16進数)をスキャンします。例えば、17桁にする場合は、「設定開始」→「読み取り最小桁数」→「1」「1」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	32 (50)		
数値バーコード				
 * 0 *	 * 1 *	 * 2 *	 * 3 *	 * 4 *
 * 5 *	 * 6 *	 * 7 *	 * 8 *	 * 9 *
 * A *	 * B *	 * C *	 * D *	 * E *
 * F *	確定  * % + M 7 - 6 *			

設定開始  * % + M 7 - 1 *	設定終了  * % + M 7 - 5 *
--	---



コマンドバースト	説明	デフォルト
 * % + J D A 1 *	スタート/ストップキャラクタ送信無し	■
 * % + J D B 2 *	スタート/ストップキャラクタ送信有り	
 * % + J A A / *	指定桁数先頭削除 左記のバーストをスキャンした後、16進数バーストで削除したい桁数(16進数)をスキャンします。例えば、123457890ABというデータの先頭10桁を削除する場合は、「設定開始」→「指定桁数先頭削除」→「0」「A」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	00(無し)
 * % + J B A + *	指定桁数後方削除 左記のバーストをスキャンした後、16進数バーストで削除したい桁数(16進数)をスキャンします。例えば、12345というデータの後方2桁を削除する場合は、「設定開始」→「指定桁数後方削除」→「0」「2」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	00(無し)
 * % + J C A % *	グループキャラクタ(G1,G2)挿入 左記のバーストをスキャンした後、16進数バーストで挿入したいグループキャラクタ番号をスキャンします。例えば、G1を挿入する場合は、「設定開始」→「グループキャラクタ(G1,G2)挿入」→「0」「1」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	00(無し)

数値バースト				
 * 0 *	 * 1 *	 * 2 *	 * 3 *	 * 4 *
 * 5 *	 * 6 *	 * 7 *	 * 8 *	 * 9 *
 * A *	 * B *	 * C *	 * D *	 * E *
 * F *	確定  * % + M 7 - 6 *			

5.6. コマンドバール(NW7)

設定開始  * % + M 7 - 1 *	設定終了  * % + M 7 - 5 *
--	---



コマンドバール	説明	デフォルト
 * % + K 1 A V *	読み取り無し	
 * % + K 1 B W *	読み取り有り	■
 * % + K 2 A W *	コード ID 左記のバールをスキャンした後、16進数バールでASCIIコードをスキャンします。例えば、Aとする場合は、「設定開始」→「コードID」→「4」「1」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	4B (K)
 * % + K 3 A X *	チェックサム検査無し	
 * % + K 3 B Y *	チェックサム検査有り	■
 * % + K 4 A Y *	チェックサム送信無し	■
 * % + K 4 B Z *	チェックサム送信有り	
 * % + K 5 A E *	連結無し	■
 * % + K 5 B - *	連結有り	
 * % + K 8 A \$ *	スタート/ストップキャラクタ ABCD/ABCD	■
 * % + K 8 B / *	スタート/ストップキャラクタ abcd/abcd	
 * % + K 8 C + *	スタート/ストップキャラクタ abcd/tn*e	
 * % + K 9 A / *	スタート/ストップキャラクタ送信無し	■
 * % + K 9 B + *	スタート/ストップキャラクタ送信有り	








<p>設定開始</p>  <p>* % + M 7 - 1 *</p>	<p>設定終了</p>  <p>* % + M 7 - 5 *</p>
--	---



コマンドバ-コード	説明	デフォルト
 <p>* % + K A A + *</p>	<p>読み取り最小桁数 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで読み取り最小桁数(16進数)をスキャンします。例えば、10桁にする場合は、「設定開始」→「読み取り最小桁数」→「0」「A」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。</p>	05
 <p>* % + K B A % *</p>	<p>読み取り最大桁数 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで読み取り最大桁数(16進数)をスキャンします。例えば、17桁にする場合は、「設定開始」→「読み取り最小桁数」→「1」「1」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。</p>	3C (60)
 <p>* % + K 6 A - *</p>	<p>指定桁数先頭削除 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで削除したい桁数(16進数)をスキャンします。例えば、123457890ABというデータの先頭10桁を削除する場合は、「設定開始」→「指定桁数先頭削除」→「0」「A」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。</p>	00(無し)
 <p>* % + K 7 A . *</p>	<p>指定桁数後方削除 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで削除したい桁数(16進数)をスキャンします。例えば、12345というデータの後方2桁を削除する場合は、「設定開始」→「指定桁数後方削除」→「0」「2」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。</p>	00(無し)
 <p>* % + K C A 1 *</p>	<p>グループキャラクタ(G1,G2)挿入 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで挿入したいグループキャラクタ番号をスキャンします。例えば、G1を挿入する場合は、「設定開始」→「グループキャラクタ(G1,G2)挿入」→「0」「1」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。</p>	00(無し)

数値バ-コード				
 <p>* 0 *</p>	 <p>* 1 *</p>	 <p>* 2 *</p>	 <p>* 3 *</p>	 <p>* 4 *</p>
 <p>* 5 *</p>	 <p>* 6 *</p>	 <p>* 7 *</p>	 <p>* 8 *</p>	 <p>* 9 *</p>
 <p>* A *</p>	 <p>* B *</p>	 <p>* C *</p>	 <p>* D *</p>	 <p>* E *</p>
 <p>* F *</p>	<p>確定</p>  <p>* % + M 7 - 6 *</p>			

5.7. コード 93



<p>設定開始</p>  <p>* % + M 7 - 1 *</p>	<p>設定終了</p>  <p>* % + M 7 - 5 *</p>
--	---

コマンドバ-コード	説明	デフォルト
 <p>* % + L 1 A W *</p>	読み取り無し	
 <p>* % + L 1 B X *</p>	読み取り有り	■
 <p>* % + L 2 A X *</p>	<p>コード ID</p> <p>左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードでASCIIコードをスキャンします。例えば、Aとする場合は、「設定開始」→「コードID」→「4」「1」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。</p>	4C(L)
 <p>* % + L 3 A Y *</p>	チェックサム検査無し	
 <p>* % + L 3 B Z *</p>	チェックサム検査有り	■
 <p>* % + L 4 A Z *</p>	チェックサム送信無し	■
 <p>* % + L 4 B - *</p>	チェックサム送信有り	



<p>設定開始</p>  <p>* % + M 7 - 1 *</p>	<p>設定終了</p>  <p>* % + M 7 - 5 *</p>
--	---

コマンドバ-コード	説明	デフォルト		
 <p>* % + L 5 A - *</p>	<p>読み取り最小桁数 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで読み取り最小桁数(16進数)をスキャンします。例えば、10桁にする場合は、「設定開始」→「読み取り最小桁数」→「0」「A」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。</p>	00		
 <p>* % + L 6 A . *</p>	<p>読み取り最大桁数 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで読み取り最大桁数(16進数)をスキャンします。例えば、17桁にする場合は、「設定開始」→「読み取り最小桁数」→「1」「1」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。</p>	50 (80)		
 <p>* % + L 7 A \$ *</p>	<p>指定桁数先頭削除 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで削除したい桁数(16進数)をスキャンします。例えば、123457890ABというデータの先頭10桁を削除する場合は、「設定開始」→「指定桁数先頭削除」→「0」「A」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。</p>	00(無し)		
 <p>* % + L 8 A / *</p>	<p>指定桁数後方削除 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで削除したい桁数(16進数)をスキャンします。例えば、12345というデータの後方2桁を削除する場合は、「設定開始」→「指定桁数後方削除」→「0」「2」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。</p>	00(無し)		
 <p>* % + L 9 A + *</p>	<p>グループキャラクタ(G1,G2)挿入 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで挿入したいグループキャラクタ番号をスキャンします。例えば、G1を挿入する場合は、「設定開始」→「グループキャラクタ(G1,G2)挿入」→「0」「1」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。</p>	00(無し)		
数値バ-コード				
 <p>* 0 *</p>	 <p>* 1 *</p>	 <p>* 2 *</p>	 <p>* 3 *</p>	 <p>* 4 *</p>
 <p>* 5 *</p>	 <p>* 6 *</p>	 <p>* 7 *</p>	 <p>* 8 *</p>	 <p>* 9 *</p>
 <p>* A *</p>	 <p>* B *</p>	 <p>* C *</p>	 <p>* D *</p>	 <p>* E *</p>
 <p>* F *</p>	<p>確定</p>  <p>* % + M 7 - 6 *</p>			

5.8. コード 128



設定開始  * % + M 7 - 1 *	設定終了  * % + M 7 - 5 *
--	---








コマンドバースコード	説明	デフォルト
 * % + M 1 A X *	読み取り無し	
 * % + M 1 B Y *	読み取り有り	■
 * % + M 2 A Y *	コード ID 左記のバースコードをスキャンした後、16進数バースコードでASCIIコードをスキャンします。例えば、Aとする場合は、「設定開始」→「コードID」→「4」「1」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	4D (M)
 * % + M 3 A Z *	チェックサム検査無し	
 * % + M 3 B - *	チェックサム検査有り	■
 * % + M 4 A - *	チェックサム送信無し	
 * % + M 4 B . *	チェックサム送信有り	■
 * % + M 5 A . *	FNC2 連結無し	■
 * % + M 5 B \$ *	FNC2 連結有り	
 * % + M 6 A \$ *	GS1-128 読み取り無し	■
 * % + M 6 B / *	GS1-128 読み取り有り	
 * % + M 7 A / *	FNC1 送信無し	■
 * % + M 7 B + *	FNC1 送信有り	



設定開始  * % + M 7 - 1 *	設定終了  * % + M 7 - 5 *
--	---

コマンドバード	説明	デフォルト		
 * % + M D A *	フィールドセパレータ(GSキャラクタ)定義 左記のバードをスキャンした後、16進数バードでASCIIバード2桁をスキャンします。例えば、@に定義する場合は、「設定開始」→「フィールドセパレータ(GSキャラクタ)定義」→「4」「0」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	00(無し)		
 * % + M A A 1 *	読み取り最小桁数 左記のバードをスキャンした後、16進数バードで読み取り最小桁数(16進数)をスキャンします。例えば、10桁にする場合は、「設定開始」→「読み取り最小桁数」→「0」「A」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	00		
 * % + M B A 2 *	読み取り最大桁数 左記のバードをスキャンした後、16進数バードで読み取り最大桁数(16進数)をスキャンします。例えば、17桁にする場合は、「設定開始」→「読み取り最小桁数」→「1」「1」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	7F (127)		
 * % + M 8 A + *	指定桁数先頭削除 左記のバードをスキャンした後、16進数バードで削除したい桁数(16進数)をスキャンします。例えば、123457890ABというデータの先頭10桁を削除する場合は、「設定開始」→「指定桁数先頭削除」→「0」「A」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	00(無し)		
 * % + M 9 A % *	指定桁数後方削除 左記のバードをスキャンした後、16進数バードで削除したい桁数(16進数)をスキャンします。例えば、12345というデータの後方2桁を削除する場合は、「設定開始」→「指定桁数後方削除」→「0」「2」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	00(無し)		
 * % + M C A 3 *	グループキャラクタ(G1,G2)挿入 左記のバードをスキャンした後、16進数バードで挿入したいグループキャラクタ番号をスキャンします。例えば、G1を挿入する場合は、「設定開始」→「グループキャラクタ(G1,G2)挿入」→「0」「1」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	00(無し)		
数値バード				
 * 0 *	 * 1 *	 * 2 *	 * 3 *	 * 4 *
 * 5 *	 * 6 *	 * 7 *	 * 8 *	 * 9 *
 * A *	 * B *	 * C *	 * D *	 * E *
 * F *	確定  * % + M 7 - 6 *			

5.9. インターリーブド 2/5

設定開始  * % + M 7 - 1 *	設定終了  * % + M 7 - 5 *
--	---



コマンドバースコード	説明	デフォルト
 * % + N 1 A Y *	読み取り無し	■
 * % + N 1 B Z *	読み取り有り	
 * % + N 2 A Z *	コード ID 左記のバースコードをスキャンした後、16進数バースコードでASCIIコードをスキャンします。例えば、Aとする場合は、「設定開始」→「コードID」→「4」「1」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	4E (N)
 * % + N 3 A - *	チェックサム検査無し	■
 * % + N 3 B . *	チェックサム検査有り	
 * % + N 4 A . *	チェックサム送信無し	
 * % + N 4 B \$ *	チェックサム送信有り	■








設定開始  * % + M 7 - 1 *	設定終了  * % + M 7 - 5 *
--	---



コマンドバ-コード	説明	デフォルト
 * % + N 7 A + *	読み取り最小桁数 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで読み取り最小桁数(16進数)をスキャンします。例えば、10桁にする場合は、「設定開始」→「読み取り最小桁数」→「0」「A」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	00
 * % + N 8 A % *	読み取り最大桁数 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで読み取り最大桁数(16進数)をスキャンします。例えば、17桁にする場合は、「設定開始」→「読み取り最小桁数」→「1」「1」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	7F (127)
 * % + N 5 A \$ *	指定桁数先頭削除 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで削除したい桁数(16進数)をスキャンします。例えば、12345789012というデータの先頭10桁を削除する場合は、「設定開始」→「指定桁数先頭削除」→「0」「A」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	00(無し)
 * % + N 6 A / *	指定桁数後方削除 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで削除したい桁数(16進数)をスキャンします。例えば、12345というデータの後方2桁を削除する場合は、「設定開始」→「指定桁数後方削除」→「0」「2」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	00(無し)
 * % + N 9 A 1 *	グループキャラクタ(G1,G2)挿入 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで挿入したいグループキャラクタ番号をスキャンします。例えば、G1を挿入する場合は、「設定開始」→「グループキャラクタ(G1,G2)挿入」→「0」「1」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	00(無し)

数値バ-コード				
 * 0 *	 * 1 *	 * 2 *	 * 3 *	 * 4 *
 * 5 *	 * 6 *	 * 7 *	 * 8 *	 * 9 *
 * A *	 * B *	 * C *	 * D *	 * E *
 * F *	確定  * % + M 7 - 6 *			

5.10. インダストリアル 2/5

設定開始  * % + M 7 - 1 *	設定終了  * % + M 7 - 5 *
--	---



コマンドバ-コード	説明	デフォルト
 * % + 0 1 A Z *	読み取り無し	
 * % + 0 1 B - *	読み取り有り	■
 * % + 0 2 A - *	コード ID 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードでASCIIコードをスキャンします。例えば、Aとする場合は、「設定開始」→「コードID」→「4」「1」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	4F(0)
 * % + 0 7 A % *	チェックサム検査無し	■
 * % + 0 7 B 1 *	チェックサム検査有り	
 * % + 0 8 A 1 *	チェックサム送信無し	
 * % + 0 8 B 2 *	チェックサム送信有り	■








<p>設定開始</p>  <p>* % + M 7 - 1 *</p>	<p>設定終了</p>  <p>* % + M 7 - 5 *</p>
--	---



コマンドバ-コード	説明	デフォルト
 <p>* % + 0 3 A . *</p>	<p>読み取り最小桁数 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで読み取り最小桁数(16進数)をスキャンします。例えば、10桁にする場合は、「設定開始」→「読み取り最小桁数」→「0」「A」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。</p>	00
 <p>* % + 0 4 A \$ *</p>	<p>読み取り最大桁数 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで読み取り最大桁数(16進数)をスキャンします。例えば、17桁にする場合は、「設定開始」→「読み取り最小桁数」→「1」「1」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。</p>	32 (50)
 <p>* % + 0 5 A / *</p>	<p>指定桁数先頭削除 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで削除したい桁数(16進数)をスキャンします。例えば、12345789012というデータの先頭10桁を削除する場合は、「設定開始」→「指定桁数先頭削除」→「0」「A」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。</p>	00(無し)
 <p>* % + 0 6 A + *</p>	<p>指定桁数後方削除 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで削除したい桁数(16進数)をスキャンします。例えば、12345というデータの後方2桁を削除する場合は、「設定開始」→「指定桁数後方削除」→「0」「2」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。</p>	00(無し)
 <p>* % + 0 9 A 2 *</p>	<p>グループキャラクタ(G1,G2)挿入 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで挿入したいグループキャラクタ番号をスキャンします。例えば、G1を挿入する場合は、「設定開始」→「グループキャラクタ(G1,G2)挿入」→「0」「1」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。</p>	00(無し)

数値バ-コード				
 * 0 *	 * 1 *	 * 2 *	 * 3 *	 * 4 *
 * 5 *	 * 6 *	 * 7 *	 * 8 *	 * 9 *
 * A *	 * B *	 * C *	 * D *	 * E *
 * F *	<p>確定</p>  <p>* % + M 7 - 6 *</p>			

5.11. マトリクス 2/5



設定開始  * % + M 7 - 1 *	設定終了  * % + M 7 - 5 *
--	---








コマンドバースコード	説明	デフォルト
 * % + P 1 A - *	読み取り無し	■
 * % + P 1 B . *	読み取り有り	
 * % + P 2 A . *	コード ID 左記のバースコードをスキャンした後、16進数バースコードでASCIIコードをスキャンします。例えば、Aとする場合は、「設定開始」→「コードID」→「4」「1」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	50 (P)
 * % + P 3 A \$ *	チェックサム検査無し	■
 * % + P 3 B / *	チェックサム検査有り	
 * % + P 4 A / *	チェックサム送信無し	
 * % + P 4 B + *	チェックサム送信有り	■



設定開始  * % + M 7 - 1 *	設定終了  * % + M 7 - 5 *
--	---

コマンドバ-コード	説明	デフォルト		
 * % + P 7 A 1 *	読み取り最小桁数 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで読み取り最小桁数(16進数)をスキャンします。例えば、10桁にする場合は、「設定開始」→「読み取り最小桁数」→「0」「A」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	0B (11)		
 * % + P 8 A 2 *	読み取り最大桁数 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで読み取り最大桁数(16進数)をスキャンします。例えば、17桁にする場合は、「設定開始」→「読み取り最小桁数」→「1」「1」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	50 (80)		
 * % + P 5 A + *	指定桁数先頭削除 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで削除したい桁数(16進数)をスキャンします。例えば、12345789012というデータの先頭10桁を削除する場合は、「設定開始」→「指定桁数先頭削除」→「0」「A」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	00(無し)		
 * % + P 6 A % *	指定桁数後方削除 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで削除したい桁数(16進数)をスキャンします。例えば、12345というデータの後方2桁を削除する場合は、「設定開始」→「指定桁数後方削除」→「0」「2」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	00(無し)		
 * % + P 9 A 3 *	グループキャラクタ(G1,G2)挿入 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで挿入したいグループキャラクタ番号をスキャンします。例えば、G1を挿入する場合は、「設定開始」→「グループキャラクタ(G1,G2)挿入」→「0」「1」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	00(無し)		
数値バ-コード				
 * 0 *	 * 1 *	 * 2 *	 * 3 *	 * 4 *
 * 5 *	 * 6 *	 * 7 *	 * 8 *	 * 9 *
 * A *	 * B *	 * C *	 * D *	 * E *
 * F *	確定  * % + M 7 - 6 *			

5.12. チャイホ°スト



設定開始  * % + M 7 - 1 *	設定終了  * % + M 7 - 5 *
--	---

コマンドバ°コード	説明	デ°イフォルト
 * % + Q 1 A . *	読み取り無し	■
 * % + Q 1 B \$ *	読み取り有り	
 * % + Q 2 A \$ *	コード ID 左記のバ°コード をスキャンした後、16 進数バ°コード で ASCII コード をスキャンします。例えば、A とする場合は、「設定開始」→「コード ID」→「4」「1」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	51 (Q)
 * % + Q 3 A / *	チェックサム検査無し	■
 * % + Q 3 B + *	チェックサム検査有り	
 * % + Q 4 A + *	チェックサム送信無し	
 * % + Q 4 B % *	チェックサム送信有り	■



設定開始  * % + M 7 - 1 *	設定終了  * % + M 7 - 5 *
--	---

コマンドバ-コード	説明	デフォルト		
 * % + Q 7 A 2 *	読み取り最小桁数 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで読み取り最小桁数(16進数)をスキャンします。例えば、10桁にする場合は、「設定開始」→「読み取り最小桁数」→「0」「A」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	00		
 * % + Q 8 A 3 *	読み取り最大桁数 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで読み取り最大桁数(16進数)をスキャンします。例えば、17桁にする場合は、「設定開始」→「読み取り最小桁数」→「1」「1」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	50 (80)		
 * % + Q 5 A % *	指定桁数先頭削除 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで削除したい桁数(16進数)をスキャンします。例えば、12345789012というデータの先頭10桁を削除する場合は、「設定開始」→「指定桁数先頭削除」→「0」「A」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	00(無し)		
 * % + Q 6 A 1 *	指定桁数後方削除 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで削除したい桁数(16進数)をスキャンします。例えば、12345というデータの後方2桁を削除する場合は、「設定開始」→「指定桁数後方削除」→「0」「2」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	00(無し)		
 * % + Q 9 A 4 *	グループキャラクタ(G1,G2)挿入 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで挿入したいグループキャラクタ番号をスキャンします。例えば、G1を挿入する場合は、「設定開始」→「グループキャラクタ(G1,G2)挿入」→「0」「1」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	00(無し)		
数値バ-コード				
 * 0 *	 * 1 *	 * 2 *	 * 3 *	 * 4 *
 * 5 *	 * 6 *	 * 7 *	 * 8 *	 * 9 *
 * A *	 * B *	 * C *	 * D *	 * E *
 * F *	確定  * % + M 7 - 6 *			

5.13. MSI/Plessey



設定開始  * % + M 7 - 1 *	設定終了  * % + M 7 - 5 *
--	---

コマンドバースト	説明	デフォルト
 * % + R 1 A \$ *	読み取り無し	■
 * % + R 1 B / *	読み取り有り	
 * % + R 2 A / *	コード ID 左記のバーストをスキャンした後、16進数バーストでASCIIコードをスキャンします。例えば、Aとする場合は、「設定開始」→「コードID」→「4」「1」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	52 (R)
 * % + R 3 A + *	チェックサム検査無し	■
 * % + R 3 B % *	チェックサム検査有り MOD10	
 * % + R 3 C 1 *	チェックサム検査有り MOD10/10	
 * % + R 3 D 2 *	チェックサム検査有り MOD11/10	
 * % + R 4 A % *	チェックサム送信無し	
 * % + R 4 B 1 *	チェックサム送信有り	■

設定開始  * % + M 7 - 1 *	設定終了  * % + M 7 - 5 *
--	---



コマンドバ-コード	説明	デフォルト		
 * % + R 7 A 3 *	読み取り最小桁数 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで読み取り最小桁数(16進数)をスキャンします。例えば、10桁にする場合は、「設定開始」→「読み取り最小桁数」→「0」「A」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	00		
 * % + R 8 A 4 *	読み取り最大桁数 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで読み取り最大桁数(16進数)をスキャンします。例えば、17桁にする場合は、「設定開始」→「読み取り最小桁数」→「1」「1」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	3C (60)		
 * % + R 5 A 1 *	指定桁数先頭削除 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで削除したい桁数(16進数)をスキャンします。例えば、12345789012というデータの先頭10桁を削除する場合は、「設定開始」→「指定桁数先頭削除」→「0」「A」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	00(無し)		
 * % + R 6 A 2 *	指定桁数後方削除 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで削除したい桁数(16進数)をスキャンします。例えば、12345というデータの後方2桁を削除する場合は、「設定開始」→「指定桁数後方削除」→「0」「2」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	00(無し)		
 * % + R 9 A 5 *	グループキャラクタ(G1,G2)挿入 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで挿入したいグループキャラクタ番号をスキャンします。例えば、G1を挿入する場合は、「設定開始」→「グループキャラクタ(G1,G2)挿入」→「0」「1」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	00(無し)		
数値バ-コード				
 * 0 *	 * 1 *	 * 2 *	 * 3 *	 * 4 *
 * 5 *	 * 6 *	 * 7 *	 * 8 *	 * 9 *
 * A *	 * B *	 * C *	 * D *	 * E *
 * F *	確定  * % + M 7 - 6 *			








5.14. コード 32



設定開始  * % + M 7 - 1 *	設定終了  * % + M 7 - 5 *
--	---

コマンドバrcode	説明	デフォルト		
 * % + S 1 A *	読み取り無し	■		
 * % + S 1 B *	読み取り有り			
 * % + S 2 A *	コード ID 左記のバrcode をスキャンした後、16 進数バrcode で ASCII コードをスキャンします。例えば、A とする場合は、「設定開始」→「コード ID」→「4」「1」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	53 (S)		
 * % + S 3 A *	チェックサム検査無し			
 * % + S 3 B *	チェックサム検査有り	■		
 * % + S 4 A *	チェックサム送信無し			
 * % + S 4 B *	チェックサム送信有り	■		
 * % + S 5 A *	指定桁数先頭削除 左記のバrcode をスキャンした後、16 進数バrcode で削除したい桁数 (16 進数) をスキャンします。例えば、12345789012 というデータの先頭 10 桁を削除する場合は、「設定開始」→「指定桁数先頭削除」→「0」「A」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	00 (無し)		
 * % + S 6 A *	指定桁数後方削除 左記のバrcode をスキャンした後、16 進数バrcode で削除したい桁数 (16 進数) をスキャンします。例えば、12345 というデータの後方 2 桁を削除する場合は、「設定開始」→「指定桁数後方削除」→「0」「2」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	00 (無し)		
 * % + S 7 A *	グループキャラクタ (G1, G2) 挿入 左記のバrcode をスキャンした後、16 進数バrcode で挿入したいグループキャラクタ番号をスキャンします。例えば、G1 を挿入する場合は、「設定開始」→「グループキャラクタ (G1, G2) 挿入」→「0」「1」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	00 (無し)		
数値バrcode				
 * 0 *	 * 1 *	 * 2 *	 * 3 *	 * 4 *
 * 5 *	 * 6 *	 * 7 *	 * 8 *	 * 9 *
 * A *	 * B *	 * C *	 * D *	 * E *
 * F *	確定  * % + M 7 - 6 *			

5.15. コード 11



設定開始  * % + M 7 - 1 *	設定終了  * % + M 7 - 5 *
--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % + T 1 A *	読み取り無し	■
 * % + T 1 B *	読み取り有り	
 * % + T 2 A *	コード ID 左記のバーコードをスキャンした後、16進数バーコードでASCIIコードをスキャンします。例えば、Aとする場合は、「設定開始」→「コードID」→「4」「1」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	53 (T)
 * % + T 3 A *	チェックサム検査無し	
 * % + T 3 B *	チェックサム検査有り	■
 * % + T 4 A *	チェックサム送信無し	■
 * % + T 4 B *	チェックサム送信有り	



<p>設定開始</p>  <p>* % + M 7 - 1 *</p>	<p>設定終了</p>  <p>* % + M 7 - 5 *</p>
--	---

コマンドバ-コード	説明	デフォルト		
 * % + T 7 A *	<p>読み取り最小桁数 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで読み取り最小桁数(16進数)をスキャンします。例えば、10桁にする場合は、「設定開始」→「読み取り最小桁数」→「0」「A」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。</p>	00		
 * % + T 8 A *	<p>読み取り最大桁数 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで読み取り最大桁数(16進数)をスキャンします。例えば、17桁にする場合は、「設定開始」→「読み取り最小桁数」→「1」「1」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。</p>	3C (60)		
 * % + T 5 A *	<p>指定桁数先頭削除 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで削除したい桁数(16進数)をスキャンします。例えば、12345789012というデータの先頭10桁を削除する場合は、「設定開始」→「指定桁数先頭削除」→「0」「A」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。</p>	00(無し)		
 * % + T 6 A *	<p>指定桁数後方削除 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで削除したい桁数(16進数)をスキャンします。例えば、12345というデータの後方2桁を削除する場合は、「設定開始」→「指定桁数後方削除」→「0」「2」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。</p>	00(無し)		
 * % + T 9 A *	<p>グループキャラクタ(G1,G2)挿入 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで挿入したいグループキャラクタ番号をスキャンします。例えば、G1を挿入する場合は、「設定開始」→「グループキャラクタ(G1,G2)挿入」→「0」「1」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。</p>	00(無し)		
数値バ-コード				
 * 0 *	 * 1 *	 * 2 *	 * 3 *	 * 4 *
 * 5 *	 * 6 *	 * 7 *	 * 8 *	 * 9 *
 * A *	 * B *	 * C *	 * D *	 * E *
 * F *	<p>確定</p>  * % + M 7 - 6 *			

5.16. Telepen

設定開始  * % + M 7 - 1 *	設定終了  * % + M 7 - 5 *
--	---

コマンドバースト	説明	デフォルト
 * % + V 1 A *	読み取り無し	■
 * % + V 1 B *	読み取り有り	
 * % + V 2 A *	コード ID 左記のバーストをスキャンした後、16進数バーストでASCIIコードをスキャンします。例えば、Aとする場合は、「設定開始」→「コードID」→「4」「1」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	53 (T)
 * % + V A A *	データフォーマット 数字のみ	
 * % + V A B *	データフォーマット フルアスキー	■
 * % + V 3 A *	チェックサム検査無し	
 * % + V 3 B *	チェックサム検査有り	■
 * % + V 4 A *	チェックサム送信無し	■
 * % + V 4 B *	チェックサム送信有り	

設定開始  * % + M 7 - 1 *	設定終了  * % + M 7 - 5 *
--	---

コマンドバ-コード	説明	デフォルト		
 * % + V 7 A *	読み取り最小桁数 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで読み取り最小桁数(16進数)をスキャンします。例えば、10桁にする場合は、「設定開始」→「読み取り最小桁数」→「0」「A」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	00		
 * % + V 8 A *	読み取り最大桁数 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで読み取り最大桁数(16進数)をスキャンします。例えば、17桁にする場合は、「設定開始」→「読み取り最小桁数」→「1」「1」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	3C (60)		
 * % + V 5 A *	指定桁数先頭削除 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで削除したい桁数(16進数)をスキャンします。例えば、12345789012というデータの先頭10桁を削除する場合は、「設定開始」→「指定桁数先頭削除」→「0」「A」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	00(無し)		
 * % + V 6 A *	指定桁数後方削除 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで削除したい桁数(16進数)をスキャンします。例えば、12345というデータの後方2桁を削除する場合は、「設定開始」→「指定桁数後方削除」→「0」「2」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	00(無し)		
 * % + V 9 A *	グループキャラクタ(G1,G2)挿入 左記のバ-コードをスキャンした後、16進数バ-コードで挿入したいグループキャラクタ番号をスキャンします。例えば、G1を挿入する場合は、「設定開始」→「グループキャラクタ(G1,G2)挿入」→「0」「1」→「確定」→「設定終了」の順でスキャンします。	00(無し)		
数値バ-コード				
 * 0 *	 * 1 *	 * 2 *	 * 3 *	 * 4 *
 * 5 *	 * 6 *	 * 7 *	 * 8 *	 * 9 *
 * A *	 * B *	 * C *	 * D *	 * E *
 * F *	確定  * % + M 7 - 6 *			

5.17. GS1 Databar

設定開始 * % + M 7 - 1 *	設定終了 * % + M 7 - 5 *
-----------------------------	-----------------------------

コマンド	説明	デフォルト
 * % + U 1 B *	GS1 Databar 読み取り無し	■
 * % + U 1 A *	GS1 Databar 読み取り有り	
 * % + U 2 B *	GS1 Databar Limited 読み取り無し	■
 * % + U 2 A *	GS1 Databar Limited 読み取り有り	
 * % + U 3 B *	GS1 Databar Expanded 読み取り無し	■
 * % + U 3 A *	GS1 Databar Expanded 読み取り有り	
 * % + U 4 B *	UPC/EAN 変換無し	■
 * % + U 4 A *	UPC/EAN 変換有り	
 * % + U 5 B 0 *	アプリケーション ID (01) 送信無し (GS1 Databar Limited)	
 * % + U 5 A % *	アプリケーション ID (01) 送信有り (GS1 Databar Limited)	■
 * % + U 6 B 1 *	フィクセッド送信無し (GS1 Databar Limited)	
 * % + U 6 A 0 *	フィクセッド送信有り (GS1 Databar Limited)	■

補足A. ASCIIコード表

ASCIIコード表								
	0	1	2	3	4	5	6	7
0	NUL	DLE	SP	0	@	P	`	p
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	STX	DC2	"	2	B	R	b	r
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7	BEL	ETB	'	7	G	W	g	w
8	BS	CAN	(8	H	X	h	x
9	HT	EM)	9	I	Y	i	y
A	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z
B	VT	ESC	+	;	K	[k	{
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	
D	CR	GS	-	=	M]	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	_	o	DEL

補足B. ファンクションキーテーブル

ファンクションキーテーブル 1								
	0	1	2	3	4	5	6	7
0		DLE	SP	0	@	P	`	p
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	STX	DC2	"	2	B	R	b	r
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7	BEL	ETB	'	7	G	W	g	w
8	BS	CAN	(8	H	X	h	x
9	HT	EM)	9	I	Y	l	y
A	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z
B	VT	ESC	+	;	K	[k	{
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	
D	CR	GS	-	=	M]	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	_	o	DEL

ファンクションキーテーブル 2								
	0	1	2	3	4	5	6	7
0			SP	0	@	P	`	p
1	Insert	F1	!	1	A	Q	a	q
2	Delete	F2	"	2	B	R	b	r
3	Home	F3	#	3	C	S	c	s
4	End	F4	\$	4	D	T	d	t
5	↑	F5	%	5	E	U	e	u
6	↓	F6	&	6	F	V	f	v
7	←	F7	'	7	G	W	g	w
8	Back Space	F8	(8	H	X	h	x
9	Tab	F9)	9	I	Y	l	y
A	CTRL+J	F10	*	:	J	Z	j	z
B	→	F11	+	;	K	[k	{
C	Page Up	F12	,	<	L	¥	l	
D	Enter	ESC	-	=	M]	m	}
E	Page Down	右 ALT	.	>	N	^	n	~
F		Enter(NUM)	/	?	O	_	o	DEL

補足C. サンプルコード

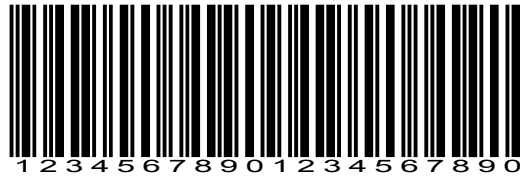
コード 39



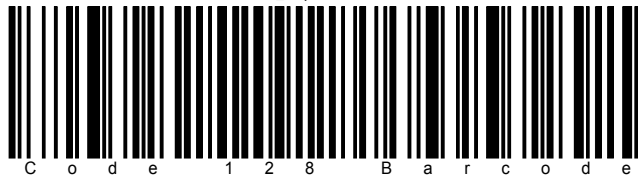
JAN-13



インターピット 2/5 (ITF)



コード 128



GS1-128



GS1 Databar インタピット



Blank page

